

未来に向かって、社会とともに。



こども110番運動

より良い未来のため、これからもみなさまとともに歩んでいきたい。

関西電力は、自らの事業活動に伴う環境負荷を低減するなど、地球環境問題に積極的に取り組むとともに、次世代エネルギー供給技術の研究開発や海外での技術協力を行うなど、新しい時代を視野に入れた取り組みを続けています。また、地域社会の一員として文化・スポーツ支援や、未来を担う子供たちへの環境・エネルギー教育などの活動を行っています。



丹後魚っ知館



トローリーバス (黒部ダム)

環境との関わりが深いエネルギー事業者として、地球環境問題に積極的に取り組んでいます。

環境保全



CEF南あわじウィンドファーム（関西グリーン電力基金助成先）



南港発電所（ISO14001外部認証を取得）

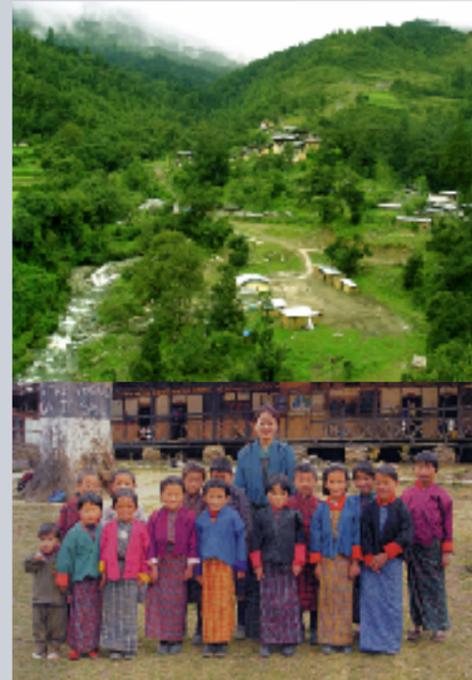
地球温暖化防止やゼロエミッションに向けた様々な取り組みを通じて、地球環境の保全につとめています。



http://www.jemai.or.jp

No. AT-03-001

当社がお届けする電力が「エコリーフ環境ラベル」を電力会社で初めて取得しました。これは、製品に関する定量的な環境負荷データについて第三者による認証を受け、開示するものです。



ブータン王国/小規模水力発電所建設プロジェクト

地球温暖化防止に向けた取り組み

2008年、いよいよ京都議定書の第1約束期間が始まります。関西電力は、地球温暖化防止を重要な経営課題の1つと位置づけ、国内外において、CO₂の削減や効率的なエネルギー利用に向けたさまざまな取り組みを、積極的かつ総合的に展開しています。まず国内においては、発電時にCO₂を排出しない原子力発電の推進、火力発電の熱効率向上などの対策を推進しています。また、社会全体で効率よくエネルギーが利用されるよう、自然冷媒ヒートポンプ給湯機（エコキュート）などの高効率機器の普及・開発を進めています。さらに、地域のお客さまから寄付金を募り、新エネルギー発電施設の建設を助成する関西グリーン電力基金にも協力しています。一方海外においては、西豪州における環境植林事業、ツバル国における太陽光発電プロジェクトのほか、ブータン王国の未電化村での小規模水力発電、中国の水力発電の建設などのCDM*プロジェクトを通じて、CO₂削減に協力しています。

関西電力は、今後も地球温暖化防止のために、こうした取り組みを国内外で積極的に進め、販売電力量あたりCO₂排出量についても、2008～2012年度の5年平均で0.282kg-CO₂/kWh程度（基準年である1990年度比20%程度低減）に低減するという目標を掲げ、業界トップレベルの水準の維持に努めています。

* CDM：途上国と先進国が共同で温室効果ガス削減に取り組む仕組み。

その結果、生じた削減量を自国の温室効果ガス排出量として分け合うことができる。

ゼロエミッションに向けた取り組み

関西電力は、循環型社会に適した事業活動を実現するため、事業全般にわたる3R活動（産業廃棄物等の発生抑制＜Reduce＞、再使用＜Reuse＞、リサイクル＜Recycle＞）を推進しています。例えば、コンクリート電柱は全てリサイクルし、道路の材料として使用するほか、火力発電所で燃料として石炭を燃やした後に残る灰も、全てセメントの材料として使用しています。2007年度には、こうした取り組みをさらに強化し、産業廃棄物の埋立処分量をゼロにすることを目指していく、いわゆる「ゼロエミッション」に向けた取り組みをスタートさせています。

環境管理、環境コミュニケーションの推進

関西電力は、以上のような地球環境、地域環境の保全のために幅広い取り組みを展開しています。こうした取り組みについては、社内に整備した環境管理体制のもと、PDCAサイクルに基づいて着実に実施するとともに、環境関連法規制の遵守も徹底しています。あわせてISO14001、エコリーフ環境ラベルなど外部認証を導入することによってさらなる信頼性の向上にも努めています。また、CSRレポートやホームページ等を通じた積極的な環境情報の開示や、地域の子もたちに環境やエネルギーについて考え、行動するための機会を提供する「かんでんeキッズクラブ」等の活動等に取り組んでいます。

地域における環境への身近な取り組みをサポート

「環境の世紀」といわれる21世紀。関西電力は地域のみなさまと一緒にこの問題に取り組んでいます。「みんなのエコフレンドリー活動」として、植樹や地域美化活動など様々な環境貢献活動を推進しています。



ツバル国/太陽光発電プロジェクト（ツバル国の首都フナフチ（上）と完成予想図（下））